

やまがた 議会だより

平成30年4月

No. 124

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



山形小学校 卒業証書授与式 卒業生82人が羽ばたく

- 第1回議会定例会／主な議案…2～3
- 議員活動4年間を終えて……………6～8
- 一般質問……………3～6
- 議会日誌……………8

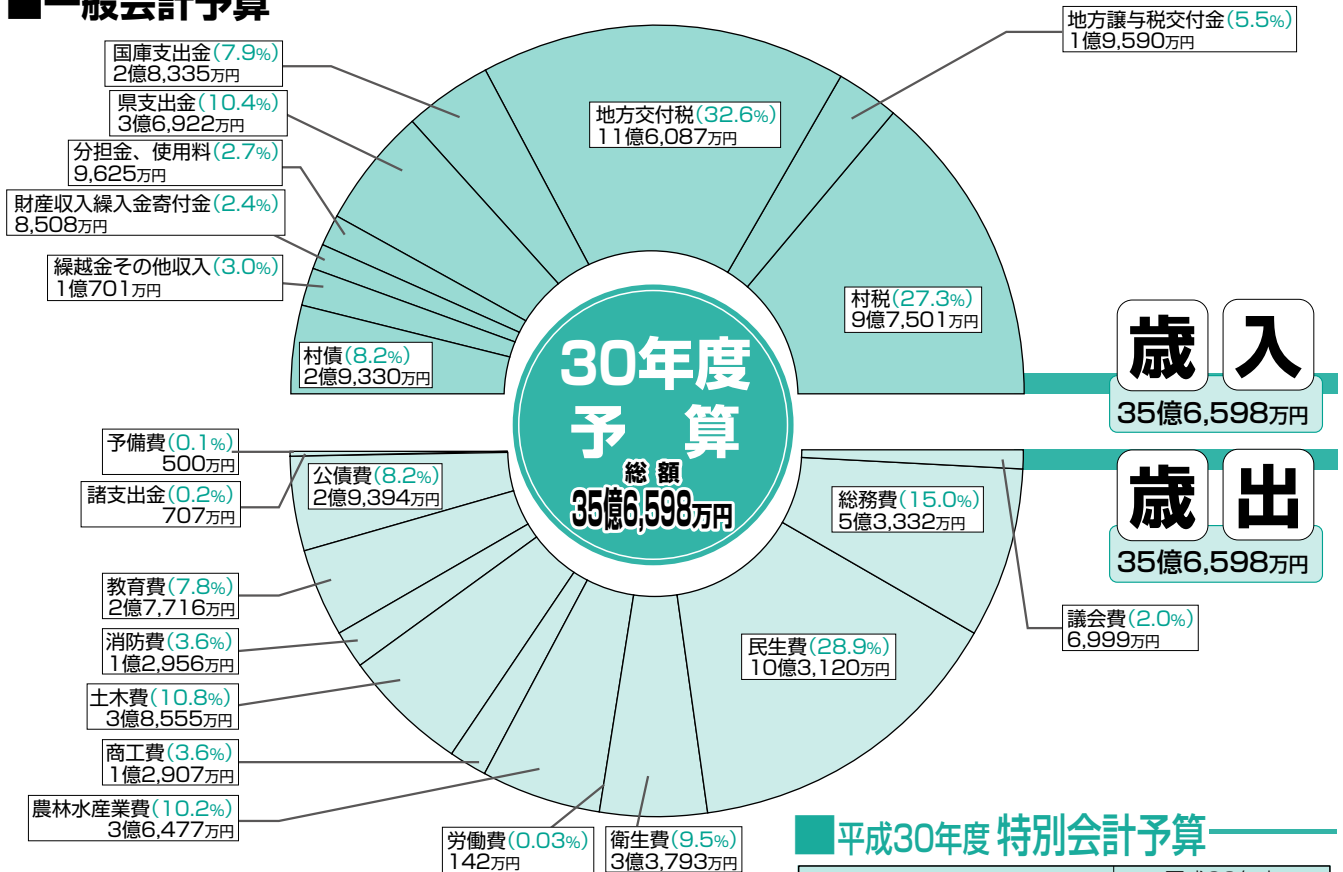
平成30年 第1回 議会定例会 平成30年度予算を可決

平成30年山形村議会第1回定例会が2月26日開会し3月7日まで10日間行なわれた。

平成30年度一般会計予算など、村が提出した全29件（同意3件、諮問1件、条例改正、規約変更等14件、予算11件）を原案通り、可決した。

同意は、約1年間不在が続いた副村長の人事案など、条例は、本庄村長の公約であった「子育て支援業務を教育委員会に集約する」ため職員定数条例の改正、事務の一部が県に統合される国民健康保険条例の改正、介護保険関係の条例改正、予算は平成30年度当初予算、29年度一般会計補正予算など。一般質問は5日と6日に10人が登壇し村政の課題を質問した。
(増澤武志)

■一般会計予算



平成30年度 特別会計予算

予算区分	平成30年度 予算額	
国民健康保険特別会計	10億6,089万円	
後期高齢者医療特別会計	7,603万円	
介護保険特別会計	7億4,125万円	
清水高原簡易水道特別会計	1,299万円	
水道事業計	収益的収入	2億1,968万円
	収益的支出	2億910万円
	資本的収入	202万円
	資本的支出	5,824万円
下水道計	収益的収入	4億2,777万円
	収益的支出	3億9,795万円
	資本的収入	2億5,177万円
	資本的支出	4億2,462万円

同意・諮問

- 監査委員の選任について
菅野初雄さん（上竹田）を同意
任期 平成30年3月3日から4年間
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
中村俊春さん（中大池）を同意
任期 平成30年4月20日から3年間
- 副村長の選任について
小林かつ代さん（下大池）を同意
任期 平成30年3月

条例改正・制定

- 職員定数条例の一部を改正する条例について
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例について
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
介護保険条例の一部を改正する条例について
(賛成多数)
反対…大池議員



19日から4年間

○ 人権擁護委員候補者の推薦について
中村哲久さん（上大池）を推薦
任期 平成30年7月1日から3年間

○指定地域密着型介護予

防サービスの事業の人員、設備及び運営並び

に指定地域密着型介護予

防サービスに係る介護予防

のための効果的な支援の方法に関する

基準を定める条例の一部を改正する条例につ

いて

○指定地域密着型サービスの事業者等の指定に

関する基準を定める条例の一部を改正する条

例について

○指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並

びに指定介護予防支援等に係る介護予防のため

の効果的な支援の方法に関する基準を定める

条例の一部を改正する条例について

○平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算

(第1号)

歳入歳出総額に3億33万2千円を追加し総

額を7千92万円とするもの。

○平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4

号)

歳入歳出総額から3千3百91万3千円を減

額し総額を7億5千5百74万円とするもの。

○平成29年度一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出総額から3千9百90万円を減額し、

総額を34億6千7百59

万円とするもの。

小学校

・小学校給食室のシステムコンベクションオーブンの交換に4百73万2千円

○平成29年度国民健康保険特別会計補正予算

(第3号)

歳入歳出総額から6千3百13万2千円減額

し総額を11億6千6百68万6千円とするもの。

○平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算

(第1号)

歳入歳出総額に3億33万2千円を追加し総

額を7千92万円とするもの。

○平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4

号)

歳入歳出総額から3千3百91万3千円を減

額し総額を7億5千5百74万円とするもの。

規約変更

○長野県町村公平委員会共同設置規約の変更について

計画変更

○辺地総合整備計画の変更について

・清水寺展望台建設に係る計画の追加

寄付の受入れ

○上竹田中村連絡班集会施設用地の負担付き寄付の受け入れについて

道路認定

○村道路線の認定について

北163号線(128m)

平成30年度当初予算

主な事業・新規事業等

○地域おこし協力隊を新たに4名募集(千7百15万円)

○防犯灯電気料を全額村が負担(7百5万円)

○清水寺展望台建築(9千2百83万円)

○スカイランド喫煙室、冷蔵庫更新(千6百70万円)

○ふるさと応援寄付金事業(2百96万円)

○店舗・事業所リフォーム事業(3百万円)

○畜産クラスター事業(1億6千3百44万円)

○病後児保育(4百70万円)

第1回臨時会

平成30年山形村議会第1回臨時会が2月8日開会された。

議案は第5次総合計画後期基本計画の策定の1件を、全会一致で可決した。

第5次基本計画の修正を行ない、より現実に近いものに修正された計画は、平成34年度人口を当初計画の9千人から8千3百人とした。計画は、ホームページに掲載されている。

なお、計画策定のため行なわれたアンケート結果は、非公表である。(増澤武志)

そこが聞きたい

一般質問

3月議会一般質問は5日(月)・6日(火)に行なわれ、村政全般に亘って10人が質問した。

病児・病後児保育の取り組みは

長村 病後児は30年度途中より実施



大池俊子 議員

Q 病後児保育の取り組みと、その具体化は。

A 村長 30年度から行なう予定。会議室を使用し、支援センター利用の親子と接触しないよう別玄関を備えている。休養スペースと保育スペースを確保。人員配置は臨時保育士1名、看護師等1名を予定。定員は3名以内。

Q 村に小児科委員を積極的に誘致する予定は。

A 村長 現在医療所が4ヶ所あり、子どもから大人まで適切な医療をしていただいている。導入は考えていない。

Q 臨時職員としているが、条件は。

A 子育て支援課長 週何回か保育園も巡回していただく。

Q 病児保育の展望は。

A その他に、公共施設などに向けて食育の取り組みについて質問した。

コミュニティ・スクールの現状は

地域と共にある学校づくりの積極的な情報発信が必要



上条浩堂 議員

Q 小学校コミュニティ・スクール制度の状況と課題は。

A 教育長 今までの成果としては、学校支援本部の皆様との関わりが子どもたちの生き方教育になっており、子どもたちの将来求められる資質・能力の育成につながってきていると認識している。地域の願いを取り入れた教育カリキュラムの実践により、地域の特色ある教育が展開され、ふるさとを愛する子ども

の育成がされてきている。昨年11月に教育委員会で小学校の保護者の皆様に、子どもたちの生活実態調査を行った。そのなかで、コミュニティ・



スクール制度については61%、学校支援本部については49%の保護者が「知らない」と答えた。地域と共にある学校づくりをすすめていくため、積極的な情報発信が必要で、支援ボランティアを増やしていくことや、地域総がかりで子どもに関わる地域学校協働活動の具体的な仕組みづくりの構築と活動の展開が、今後の課題。その他に、認知症事故保障の公的制度化について質問した。

保育園にエアコンの設置は必要ではないか

未設置の保育室に今後設置していく



増澤武志 議員

Q 保育園の電力量調査が計上されている。

A これは、全ての保育室に冷房を設置するため、現在の受電設備で可能か判断するためと推察するが、

現状では電気容量が不足する。今後の予算規模は約千5百万円かかる。設置方法など精査の上、判断したい。

Q 区や常会に加入しない、脱会する方が増えている。理由の一つに役員の負担が挙げられる。上竹田分館ではアンケート調査を行なったところ、じゃんざら祭りや村民運動会についても見直しが必要との声が多い。負担軽減を考慮した行事のあり方を伺う。

A 現在「伝承館」内に保管展示している「土器」の内、県宝の指定を受けた場合の対応は、

Q 現在「伝承館」内に保管展示している「土器」の内、県宝の指定を受けた場合の対応は、

A 教育長 関係者と協議し、適切な保管と展示対応を速やかに講ずる。

Q 文化財保管の観点から、「民俗資料一括倉庫」の先行推進の考え方は。

A 教育長 文化財関係の施設整備の実施に当たっては、文化財の保存・活用を踏まえた整

Q 現在「伝承館」内に保管展示している「土器」の内、県宝の指定を受けた場合の対応は、

A 教育長 関係者と協議し、適切な保管と展示対応を速やかに講ずる。

Q 文化財保管の観点から、「民俗資料一括倉庫」の先行推進の考え方は。

A 教育長 文化財関係の施設整備の実施に当たっては、文化財の保存・活用を踏まえた整

A 教育長 村民が役職への大きな負担感により区や常会への加入をためらうことは承知している。「地域コミュニティ」に関する検討委員会」でも事業の見直し等へ反映させることが必要との意見が出されている。負担を軽減した行事のあり方は、構成役員の合意に基づき内容の見直しを進めることが必要と考えられている。

その他に、水道施設の耐震化について質問した。

Q 1期施設（埋め立て完了済）の他用途活用の可能性は？

A 教育長 第2期施設が稼働中は困難であると考えられるが、今後の他用途への転換可能性の有無等については、研究を進めていく。

その他に、自治運営における地域担当職員の位置付けについて質問した。

教育関係、部署統合について

教育長 子どもを基本にして、発達段階に応じた緊密な連携を図つてゆく



三澤一男 議員

Q 新たに教育委員会に一元化される場合の人的配置組織の概要は。

A 教育長 現在子育て支援課に所属する

職員を、教育委員会に出向させ、教育委員会事務局職員に任命し、教育委員会内部組織を改正し、教育政策課と子育て支援課を設置する予定を考えている。

Q 第五次総合計画で人口減少の計画となつたが他の自治体では、行政改革の一環として認定こども園の民営化の動

きがあるが本村は。教育長 児童福祉法、子育て支援法の中で、教育・保育の実施責任は村にある保育施設を村が直接運営し、保育のノウハウを蓄積することや人材を確保し育成する必要があると考えている。現段階では公立保育園を持続し、状況の変化に対応しながら認定こども園への移行や、民間の力の利用も含め検討課題としてゆきたい。

村民アンケート調査結果 報告書の対応は

村長 組織の財産は人材である、重要課題だと考えている



籠田利男 議員

村民アンケートからは、
1、村職員の能力向上、
2、村有地や公共施設など村有財産の有効活用、
3、議員定数の削減とあ

る。村民のこの評価を見て公約に謳つた「4年間で村を変える」政策の中でどのように考えているか。

Q 村職員の能力向上について。

A 村長 職員の能力向上については人事評価制度の実施、研修制度の充実、提案制度の活

きがあるが本村は。教育長 児童福祉法、子育て支援法の中で、教育・保育の実施責任は村にある保育施設を村が直接運営し、保育のノウハウを蓄積することや人材を確保し育成する必要があると考えている。現段階では公立保育園を持続し、状況の変化に対応しながら認定こども園への移行や、民間の力の利用も含め検討課題としてゆきたい。

税の村の考え方を質問した。

用、職員の派遣研修、職場外の講習会への参加等積極的に取り組んでいく。村有地や公共施設など村有財産の有効活用について。

A 村長 昨年3月に作成した公共施設総合管理計画に基づき、公共施設のあり方を調査、検討を行ない個別の計画を立て統廃合や長寿命化を進めていく。

その他に、議員定数の削減について質問した。

行政改革と人材育成について

村長 30年度も引き続き取り組む



赤羽千秋 議員

Q 平成29年度に実施した村づくりの改革については。

A 村長 ①地域おこし協力隊を採用②連絡班未加入世帯が増加する中で、合理的で時代に合った地域コミュニティを検討する委員会を設置

した。平成30年、重点的に取り組む行政改革については。

Q 平成30年、重点的に取り組む行政改革については。

A 村長 国から示された平成17年度からの集中改革プランを実施し、平成22年度からは自主的な行革の推進を行なった。平成27年度からは地方行政サービス改革の推進を行なっている。業務改革を推進するため、

③農地で発生する風食防止の検討委員会を設置した。

Q 「住民満足」の向上については。

A 村長 人事評価制度の実施、研修制度の充実、提案制度の活用職員それぞれが持つ力を十分発揮できる環境を作ること。役場が一つの組織として質の高い行政サービスを提供することが「住民満足」につながると考えている。

公共交通に対する不満はまだ多い 村長 今後もあり方について研究していきたい



新居禎三 議員

Q 路線バス補助金額を变更后、申請者数はどのように変化したか。

A 村長 回数券購入でも可能にした。約60%

はコンビニで購入されている。申請者は30年1月末で延べ百82人、昨年同期より40人増となっている。

Q 路線バスの必要性の意識をどのように向上させるのか。

A 村長 松本地域公共交通協議会の事業で「公共交通の乗り方教室」が開催されていて、

山形小学校でも過去に実施した。こうした事業に積極的に参加する。今後高齢者などの弱者の移動手段を含めた公共交通の在り方について研究していきたい。

その他に、住民サービスのための役場窓口について質問した。

「ふるさと納税」村人会で協力要請を 村人会でも働きかける



竹野入恒夫 議員

Q 山形村の村人会は、関東地区の首都圏信州山形村人会と中京地区の中京地区山形村人会がある。今は活発に活動しているが、一番の悩みは後継者ができないことで、

それを嘆いている。各々の村人会の会員の人数は把握できているのか。後継者ができない理由として、個人情報規制が上げられるなか、村としてどのように対処していくのか。

A 村長 村では把握していない。首都圏、中京地区、それぞれの代表者に確認したところ、首都圏は百70人位、中京地区は百50人位と聞いて

山形村の今後の在り方は

長 地方交付税の減少が見込まれる中、行政サービスも全体的に低下することが懸念される



西牧一敏 議員

Q 山形村の適正人口数は。

A 村長 平成22年をピークに緩やかに下降線を辿っている。平成34年の人口目標を8千3

百人と見込んでいる。適正人口と言うよりも、人口減少と少子高齢化の進行速度を緩和する対策が必要と考える。

Q ふるさと納税の返礼品の見直しは考えているのか。

A 村長 村内の事業者から返礼品を募っている。協力業者は随時受け付けているので、協

いる。

新規会員の獲得は、会員や会員の知り合いを通じて情報を得ている。今後村としてできることについては協力する

Q この組織を総括すれば、ふるさと納税の増加につながると思うが、村の考えは。

他の市町村は何億円もあるのに我が山形村は、昨年は百48万円・今年度12月31日現在百9万円。しかも昨年度は、山形村から他の自治体へ「ふるさと納税」された金額が

Q 村外の方が、広報誌等の刊行物をどの位購読しているのか。

A 村長 平成29年度は32名の方に広報、館報、議会報を送付している。また、年額千円の購読料を頂いている。

Q 男女共同参画の必要性は。

A 村長 少子高齢化社会は、老若男女の共同参画で社会を支える以外に村の将来は考えられない。男女共同参画は、女性の問題だけでなく、男性の問題でもあり、村

百60万円、山形村の税収は、マイナス12万円であった。今後の取り組みは。

A 村長 平成20年から始まった「ふるさと納税」について、今後も首都圏・中京地区村人会の総会に向いて行き村人会の会員名簿も利用できる様に働きかける。

30年度からは全国的に有名なポータルサイトの「ふるさとチョイス」を活用する。その他に、生まれ標識の統一について質問した。

Q 働き方改革と男女共同参画との関連はある。

A 村長 長野県では、管理職が部下の仕事と子育て、介護の両立支援を宣言し、職場のワーク・ライフ・バランスや多様な働き方を推進する「イクボス・温かボス宣言」を推進しており、当村でも村内企業へ出向き、啓発普及に努めている。

わたしの思い
議員活動4年間を終えて
村民の皆さんのご支援・ご鞭撻をいただき、村会議員4年間の任期を終えることができました。誠にありがとうございました。今期務めた12人の議員が議員活動を振り返りました。



大池 俊子

この4年間は、異常気象が我が村へも大きく影響を及ぼした。平成26年の1mを超えた豪雪、平成28年の全国放映された清水高原一帯の雨水被害

2人の被害者を出した熊出没、その後続く鳥獣被害や風食問題については、対策委員会が設置された。行政防災無線については、委員会で修正動議が出されたが、無事設置され、防災行政無線事業は進められている。あとは、地域防災で『防災マップ』の充実など、きめ細かな取り組みが必要とされる。

また、地域と共にある学校の学校支援地域本部は充実してきている。議会でも、岐阜小学校・わかき保育園や宮

議員生活4年間を振り返って



上条 浩堂

田村への視察研修は有意義であった。念願の福祉バスの2台化で、福祉文教委員での乗車体験、乗り合わせた方の意見も聞くことができ、改善の必要さも感じられた。

この4年間の議会活動を振り返って、残念ながら議会改革の進展が全くなかったと反省している。全体の一体感がなく協議・対話もほとんどかみ合わなかった。

以前の議員活動の重要性は、出身地域の要望や意見の村への進言や実践が一番でしたが、現在では地域のこととは各地域の区長を中心とした「地域づくり推進」が確立されたこともあり、議員にと

4年間議会の思い出



竹野入恒夫

26年3月30日村会議員選挙が行なわれた。しかし25日に無投票で12人が決まった。5期目が2人・2期目が4人・新人が6人であった。この新人議員の結束の良さには、ビックリした。この結果・議員の兼業禁止も、うやむやに。議員申し合わせ事項を作るにとどまった。議会基本条例や通年議会に開催は棚上げになる。

4年間を振り返って



赤羽 千秋

4年前健康で笑顔ある山形村、対話から始まる元気を公約にしました。最初は全てが初めての経験で戸惑うばかりでした。仲間議員との勉強会で自治法、村条例、予算決算審査等、行政全般にわたって学びましたが、自身の無知故に行政の難しさを痛感した4年間でした。

また今議会から、予算説明の方法が変わった。説明書の1ページから最後までを一括で課長の説明を聞き、質問は、自分の委員会以外を質問するという方法になり、課長等は、大変になったが、我々議員には予算の編成・予算の執行が目に見えて解るようになり、自分の担当の予算も、他の委員会の人が質問してくれるので、後日の委員会・予算説明会も、スムーズに進行できた。

議会活動の思い出



三澤 一男

少年老い易く、学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず。この漢詩は、中国宋代の作者の一節です。まさに今の思いです。さて、議員活動を顧み

思い出すのは雨水自然災害の恐ろしさ、雪で被害を受けた重要文化財、百年先を見据えた清水寺の修復工事に保存会として携わったことです。議員活動を通じて大勢の議員、大勢の仲間と出会い「縁結び」ができたことは私の人生の宝です。今後、議会条例等改革し、村民の代表として行政と両輪で運営できるように山形村の発展のために。

議員生活を顧みて



平沢 恒雄

前議員の新保育園建設、子育て支援センター建設に依り少子高齢化の此の時代に当村は人口が微減に留まっている現況の中で1期4年の議員・議長が始まり、多くの組織・村民の支援のもと村政を進めて来ました。電被害・雨水被害が発生した

ただその間に一般質問では、村政全般にわたり14回の質問と21項目にわたり質問させていただきました。特に、質問をしながら提案し、要望しながら、村民の皆様の安心安全な環境と自立の村の将来を伺ってきたつもりです。

また、議員活動では任期2年の副議長職を2期務めさせていただきました。微力な私を支えていただき感謝申し上げます。

4広域行政組合議会に参画し、自立の村造りを広域市町村と協働することと自主の村造りの成果を発揮して進む貴重な体験ができました。

貴重な文化財清水寺の本堂、円通門、展望台の改修が保存会の努力により完成の方向ができました。

議会日誌

4月1日	松本ハイランド農協支所新年祝賀会	4月13日	第1回議会臨時会
4月5日	役職員新年会	4月16日	松本広域連合2月定例会(松本市)
4月8日	消防団出初式	4月19日	議会運営委員会
4月9日	松本ハイランド農協新年祝賀会	4月22日	防犯協会監査会
4月12日	議会広報編集委員会	4月23日	議会運営委員会
4月15日	東筑摩郡村長会・議長会新年会	4月26日	東筑摩郡議長会(松本市)
4月17日	観光協会正副会長会	4月27日	議長
4月18日	議会基本条例研修会	4月28日	県町村議長会定例総会(長野市)
4月19日	議会基本条例研修会	4月28日	総務産業常任委員会
4月22日	松本広域連合議会	4月29日	第1回議会定例会開会
4月23日	消防委員会視察(海老名市・座間市・綾瀬市消防センター)	4月30日	全員協議会(予算説明会)
4月24日	明るい選挙推進大会	5月1日	福祉文教常任委員会
4月28日	全員協議会	5月6日	一般会質問
4月31日	正副議長・正副常任委員長研修会(安曇野市)	5月7日	定例会閉会
5月1日	正副議長・正副委員長	5月14日	定例会閉会
5月2日	松本ハイランド農協との行政懇談会	5月15日	小中学校卒業式
5月5日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会	5月22日	議長・福祉文教委員
5月6日	松塩地区広域施設組合議会	5月23日	松塩地区広域施設組合環境保全委員会(松本市)
5月8日	松塩地区広域施設組合議会	5月24日	福祉文教委員長
5月9日	松塩地区広域施設組合議会	5月25日	保育園卒園式
5月10日	松塩地区広域施設組合議会	5月26日	議長・福祉文教委員
5月11日	松塩地区広域施設組合議会	5月27日	やまのこ保育園卒園式
5月12日	松塩地区広域施設組合議会	5月28日	職員辞令交付
5月13日	松塩地区広域施設組合議会	5月29日	正副議長
5月14日	松塩地区広域施設組合議会	5月30日	保育園入園式
5月15日	松塩地区広域施設組合議会	5月31日	議長・福祉文教委員
5月16日	松塩地区広域施設組合議会	6月1日	松塩地区広域施設組合議会
5月17日	松塩地区広域施設組合議会	6月2日	全員協議会
5月18日	松塩地区広域施設組合議会	6月3日	第2回議会臨時会
5月19日	松塩地区広域施設組合議会	6月4日	
5月20日	松塩地区広域施設組合議会	6月5日	
5月21日	松塩地区広域施設組合議会	6月6日	
5月22日	松塩地区広域施設組合議会	6月7日	
5月23日	松塩地区広域施設組合議会	6月8日	
5月24日	松塩地区広域施設組合議会	6月9日	
5月25日	松塩地区広域施設組合議会	6月10日	
5月26日	松塩地区広域施設組合議会	6月11日	
5月27日	松塩地区広域施設組合議会	6月12日	
5月28日	松塩地区広域施設組合議会	6月13日	
5月29日	松塩地区広域施設組合議会	6月14日	
5月30日	松塩地区広域施設組合議会	6月15日	
5月31日	松塩地区広域施設組合議会	6月16日	

編集後記

今年はずいぶん早明で、大雪の少ない寒い冬でした。桜の開花のたよりも聞かれています。山形村の春ももうすぐそこまで。選挙も終わり、新しい議員さんを迎えるこの議会、皆様のご活躍をこ期待申し上げます。村民の皆様には、原稿等の依頼などご協力をいただき大変わ変な話になりました。心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 籠田 利男
- 副委員長 小居 武司
- 委員 増澤 禎三
- 委員 大月 武志
- 委員 平沢 恒雄